

令和7年 第11回

宮崎市教育委員会(定例会)

会 議 録

公 開 部 分

令和7年 第11回宮崎市教育委員会定例会 会議録

1 日 時 令和7年11月11日(火) 13:40～15:00

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 【教育長・教育委員】

黒木教育長、松尾代表教育委員、片山教育委員、小林教育委員、高峰教育委員

【事務局】

森屋教育局長

(企画総務課)河野課長、田中補佐、黒木補佐、野邊補佐、甲斐主査

(学校施設課)齋藤課長

(学校教育課)小川課長

(教育情報研修センター)鍋島所長

(生涯学習課)坂本課長

(文化財課) 原田課長

(スポーツランド推進課) 綾補佐

4 議 案

番 号	件 名	説 明 者
議案第33号	令和7年度一般会計補正予算案の原案について	教育局長 企画総務課長 学校施設課長 学校教育課長 教育情報研修センター所長 生涯学習課長 文化財課長
議案第34号	宮崎市立学校施設の開放に関する規則の一部改正について	スポーツランド推進課長補佐

5 報 告

番 号	件 名	説 明 者
報告第34号	専決処分について	企画総務課長
報告第35号	宮崎市立小中学校児童生徒用GIGA第1期端末の売却について	教育情報研修センター所長
報告第36号	令和7年度(臨時)第5回いじめ防止対策委員会について	学校教育課長

黒木教育長	<p>定刻になりましたので、ただいまから第11回教育委員会定例会を開会します。本日の傍聴者はありません。</p> <p>会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私と高峰教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
教育委員	異議なし。
黒木教育長	<p>それでは、「3 行事報告等」に入る前に、本日の議事の進行上、議案第34号「宮崎市立学校施設の開放に関する規則の一部改正について」を先に、事務局から説明をお願いします。</p>
スポーツランド推進課長補佐	<p>議案第34号「宮崎市立学校施設の開放に関する規則の一部改正について」ご説明します。</p> <p>提案理由は、学校体育施設開放事業において、各学校の運営協議会で決定した年間使用スケジュールに基づいた予約を、市職員が使用団体に代わって、宮崎市公共施設予約管理システムに1年分の予約を一括入力できるよう改正を行うものです。</p> <p>学校体育施設の使用団体は、年間を通して定期的に使用する団体と、予約のない空き時間を随時使用する団体の2つに区分されます。</p> <p>いずれの区分においても、宮崎市立学校施設の開放に関する規則第7条の使用許可の申請の規定に基づき、使用しようとする日の2ヶ月前から使用日までに、宮崎市立学校施設使用許可申請書により、教育委員会に提出する方法か、宮崎市公共施設予約案内システムを利用して申請する方法により、使用許可の申請を行う必要があります。</p> <p>このうち、年間を通して定期的に使用する団体は、年に1度、12月から翌1月に各学校の運営協議会とその学校を使用する全ての団体が一堂に会して行われる年間調整会議において決定した年間使用スケジュールに基づき、使用の都度、宮崎市公共施設予約案内システムに予約入力を行う必要があります。</p> <p>しかし、使用団体には、同システムへの予約入力が増え負担となっており、入力が漏れたまま使用する事例が多く見受けられる状況です。また、同システムへの入力が漏れたまま使用した場合、使用システム上は空き時間と表示されていることから、空き時間を随時使用する団体が、その時間帯に予約入力を行うことで、使用日当日にトラブルとなる事例もあります。</p> <p>このことから、年間を通して定期的に使用する団体の年間使用スケジュールを市職員が使用団体に代わって、宮崎市公共施設予約案内システムへ予約入力することで、使用団体の負担を軽減し、予約入力漏れによるトラブルの防止が図られるほか、予約のない空き時間を随時使用する団体が、宮崎市公共施設予約案内システム上で、確実に空き時間の確認を行えるようようにするため、宮崎市立学校施設の開放に関する規則第7条に「ただし、教育</p>

	委員会が必要があると認めるときは、この限りではない」という文言を追加しました。
黒木教育長	ただいま説明のありました議案第34号について、ご質問はありませんか。
小林教育委員	年間を通して定期的に使用する団体とは、具体的にどのような団体があるのでしょうか。
スポーツランド推進課長補佐	年間を通して使用する団体については、10名以上で構成される団体で、月1回以上の利用がある団体が該当します。 団体数としましては、およそ1,100団体ほどです。
黒木教育長	他に質問等はありませんか。 ないようでしたら、議案第34号「宮崎市立学校施設の開放に関する規則の一部改正について」、ご承認いただけますでしょうか。
教育委員	異議なし
黒木教育長	ご承認ありがとうございます。 それでは次に、会次第「3 行事報告等」に入ります。 「(1)教育長報告」ですが、11月6日から11月7日にかけて開催されました「令和7年度第2回宮崎県都市教育長協議会」について、私から報告します。 今年は都城市での開催でした。1日目の11月6日には、定例の議事である役員改選が行われ、私が9市の会長に承認されました。 その他、負担金等、行事等の調整があった後、直面する教育行政の課題について意見交換を行いました。 1つ目が生成AIの利活用について、2つ目が部活動の地域展開について、3つ目が学力の向上についてです。学力の向上については、特に中学校の数学が、顕著に低下しているため、各市が抱える課題を基に、具体的な取組について意見交換が行われました。 生成AIについては、学校が生成AIの進歩に追いついていない部分があり、ガイドラインを今後どのように設定していくかについて、県内各市町村も頭を悩ませている状況です。そうした中でも、モデル校を作って、活用を促しているといった意見がありました。 それから、部活動の地域展開については、本市も進んではいますが、より進んでいたのが小林市でした。ただ小林市も、指導者の確保と地域クラブの立ち上げに関して、もう一度仕組みを見直さなければならないのではないかとといった課題に直面しているとの報告がありました。 それから、3つ目の学力の向上については、特に中学校の数学が、顕著に低下しているため、各市が抱える課題を基に、具体的な取組について意見交換が行われました。

	<p>延岡市からは、生徒の習熟度に応じた学習の展開を、中学校で進めていかなければならないのではないかという提案があり、各市がそういった進め方についての意見を出し合いました。</p> <p>翌7日は、島津邸や宮崎県山之口陸上競技場といった都城市内の視察等を行いました。宮崎県都市教育長協議会の報告は以上です。</p> <p>次に、「(2)教育委員報告」は、10月24日にありました県の教育施策に対する意見交換会について、松尾代表教育委員から報告をお願いします。</p>
松尾代表教育委員	<p>10月24日、宮崎市教育情報研修センターで、各地区の市町村教育委員会連合会理事の方、それから宮崎県教育委員会教育長を含め、各課長に参加いただき、意見交換を実施しました。</p> <p>教職員の確保及び人材育成に対する支援強化、教員の情報化に対する支援の充実、教職員の働き方改革推進のための予算措置の3本について要望を含めた形で、協議が行われました。</p> <p>同じテーマでも、各地域によって少しずつ課題が異なるため、各理事が代表して近況状況と今後の展望について意見交換を行いました。</p>
黒木教育長	<p>「(3)教育局長報告」は、ありません。</p> <p>次に、「(4)各課行事報告」について、事務局から説明をお願いします。</p>
河野企画総務課長	<p>企画総務課から1つ目は、10月27日に令和7年度宮崎市総合教育会議を開催しました。</p> <p>今回は、昨年度の宮崎市総合教育会議で議題としました、「宮崎ジュニアサイエンスアカデミー」と「包括的性教育」に関する現在までの取組状況について共有しました。また「魅力的な学校づくりに向けた取組」をテーマに、今後の望ましい学校のあり方に関するアンケートの結果や未来の学校づくり検討会の取組について共有し、意見交換を行っていただきました。</p> <p>次に10月28日、第1回小中学校のあり方検討会を開催しました。こちらは、学校施設の老朽化や児童生徒数の減少が進む中、本市の小中学校における教育環境の整備、主にハード面に関する基本的な方針を策定するにあたり、外部の方の意見をお聞きするための検討会です。</p> <p>メンバーは、宮崎大学教育学部の吉村教授、地域代表として自治会とまちづくり推進委員会から各1名、保護者代表として市のPTA協議会から1名、学校代表として小中学校から校長先生各1名、合計で6名です。</p> <p>第1回では、今後の望ましい学校のあり方に関するアンケートの結果を共有し、感想や意見を伺いました。次回以降の検討会についても随時報告をしていきます。</p> <p>それから3つ目は、11月5日にグローバルチャレンジ支援事業の全体報告会と未来の学校づくりに向けた検討会提言発表がありました。まず、グローバルチャレンジ支援事業に参加した生徒たちから、マレーシアで学び、経験し、感じたことを、英語力の向上と国際感覚の醸成という2つの目的に照らし</p>

	<p>て報告がありました。最後には1人ずつ、将来に向けての決意を英語と日本語で堂々と述べ、大変頼もしく感じられました。</p> <p>また未来の学校づくりの検討会提言発表におきましては、中学生、大学生、教職員等が、それぞれの施策を提言しました。キーワードとしては、主体性ということで、中学生からは、行事や宿題、服装などは、自分たちに任せてほしいといった意見が出ました。また、時間的な部分では、大学生から、体験や探究の時間を生み出すための教育課程の工夫、教職員等からは年度初めの時間の確保について、意見がありました。</p> <p>また、空間という視点では、中学生からは子どもたちが自習できるスペースや部屋、教職員等からはリラックスできるような居場所といった提案がありました。</p> <p>また、教員の育成という視点で、大学生から相棒制度などユニークな意見を色々いただきました。</p> <p>また、当日は会場の皆様から、リアルタイムに感想や質問、意見を寄せていただく仕組みを試行しました。効率的に、また即座に会場から意見を集めることができ、大変良かったと思っています。</p> <p>第1回から3回までの検討会を通して、担当の職員がよくやってくれたと感じています。</p>
黒木教育長	<p>これまでの行事報告に対し、ご質問等はありませんか。</p>
小林教育委員	<p>未来の学校づくりに向けた検討会提言発表は、私も関わらせていただきながら、舞台裏を拝見しましたので、一言申し上げたいと思います。</p> <p>まずは、第1回、第2回と積み上げていって、いよいよこの本番の発表会ということだったのですが、河野企画総務課長がおっしゃったように企画総務課の皆様のを結集した取組になったと思います。実際、様々なシミュレーションが、分刻みで綿密に作成されていました。</p> <p>自分の担当箇所を確認することで、自分の移動すべき時間と場所を把握できました。その情報に基づいて行動すればよいことも、事前に説明を受けていました。</p> <p>また、フロアからの意見をリアルタイムに拾うことに関しても、どの座席でもWi-Fiが確実につながるかといったテストまで綿密に行われており、当日混乱なく実施できたことは素晴らしいかと思います。</p> <p>私のファシリテーションの中で、もう少し意見を拾うべきだったという反省点があります。参加した中学生、大学生、それから先生たちも、どのような意見がフロアからあったのだろうと、関心が高い状態でした。若干ネガティブなご意見もあったのかもしれませんが、それも含めて、共有できるような機会もあっても良いのかもしれませんが、ほとんどが応援メッセージでしたが、すごく学びの深い発表会だったと思います。何より、永山副市長から総括として最後に良いコメントをいただいたと感じています。</p>

	<p>永山副市長も終わった後に舞台の裏の方で、「これは良かった」といったことをしきりにおっしゃっていました。そういった点でもすごく良い発表になったと考えています。</p>
高峰教育教育委員	<p>私も11月5日、グローバルチャレンジ支援事業全体報告会と未来の学校づくりに向けた検討会提言発表に参加させていただきました。</p> <p>私は前半のグローバルチャレンジ支援事業全体報告会が非常に印象に残っています。皆さんが、感想を英語と日本語で述べられたのですが、1人の女子生徒が、貧困やホームレスといった社会課題に言及されました。</p> <p>他の生徒は、個人的な夢などを語っていたのですが、その生徒は自分以外の社会課題について話をしたので、社会課題に気づき、それを自分ごととして捉えることができたということが、派遣の成果だと思いました。</p> <p>全員を連れて行けるわけではありません。修学旅行でもありません。一部の中学生に限られてしまうので、今後の海外派遣の評価の指標には、個人の夢だけでなく、社会課題への気づきや、それを言語化できるという視点も入れて、評価設定があれば非常に良いと感じた次第です。</p> <p>後半の未来の学校づくりに向けた検討会提言発表では、質問やコメントが、大変多く寄せられたのではないかと思います。実際、どれくらいの数があったのでしょうか。たいへん興味深く、有意義な内容だったと思います。</p>
田中企画総務課長補佐	<p>来場者数は、約200人でした。</p> <p>各部会に対するコメントは85件、最後の投票については、来場者の7割近くの132件をいただきました。</p>
黒木教育長	<p>他にご質問はありませんか。</p>
片山教育委員	<p>未来の学校づくりに向けた検討会提言発表に参加させていただき、本当に素晴らしいと感じています。私が常々申し上げている、様々な立場の人たちから声を拾うことの重要性を、あらためて強く認識しました。子どもたちや先生方の素晴らしい発表やそこに至る過程なども拝見した中で、その結果が全て皆様に感動を与えたのだと思いました。</p> <p>現在の状況にも通じるかもしれませんが、従来の日本では、大人たちが考えたことに子どもたちが従うことが当たり前という風潮がありました。しかし、今回の発表会で示された子どもたちの質問力や主体性は、それが絶対ではないこと、そして自分たちにも何かを変える力があるかもしれないということ、子どもたち自身が身を持って体感しているのではないかとということに、大変感動しました。あの空気感から感じることは、非常に多かったと思います。</p> <p>「Well-being」ということが言われ始めていますが、福祉の世界では、私たちはそのWell-beingを成すために、日々活動していると昔から言われています。このWell-beingを成し遂げるために重要なことは、児童生徒、若手・ベテランの先生方が、自分たちもそこに携わっているという主体感を持つことにあったと感じました。これを一過性のものとせず、日々の学校単位の活動として今</p>

	<p>後も継続していくと良いと思います。自分たちは幸せだと感じるか、豊かだと感じるのかという質問に、1人の女子生徒がこのような発表をさせていただける場を待たせていただけて幸せだと感じていると述べていたように、全ての子どもたちが幸せだ、豊かだと体感できる学校を、是非作っていただけたらと思いました。</p> <p>本当に素晴らしい機会に携わらせていただき、皆様のご協力があり、ご尽力いただいたことに感謝申し上げます。</p>
<p>松尾代表教育委員</p>	<p>8月から3ヶ月で3回。まとめ上げる期間が短い中で、あれだけ様々な意見が集約されたことは、それぞれの部会の皆様、それから事務局の方々のご尽力があってプレゼンの日を迎えたと思っております。</p> <p>「〇〇な学校」というのは、部会により表現は違いましたが、方向性は一緒だということを感じました。</p> <p>アプローチの仕方は、子どもの視点、大学生の見解、教職員の立場とそれぞれの経験によって異なっていましたが、いずれの意見も説得力に富み非常に納得感が得られました。</p> <p>この熱意を、先生方一人ひとりに届けたいとも思います。この場に表れた多様性の対応といった子どもたちの主体性を、校長先生方だけに留めるのではなく、できれば一人ひとりの先生方まで浸透すると今後良いのではないかと思います。</p> <p>3ヶ月間にわたる初めての試みでしたが、本当に素晴らしかったと思います。</p>
<p>黒木教育長</p>	<p>発表は単なる提言ではなく、施策要望のようなものと捉えています。問題はこの提言を受けて、我々教育委員会事務局が、どういう形で施策に実現していくのかということが、今度は問われます。</p> <p>教育委員の皆様方も、発表を踏まえて、もう少しこのような施策をとのお考えがあれば、随時お申しつけください。</p> <p>いずれにしても、初回としては非常に意味があったと感じています。映像を撮っており、各学校に提供ができる体制がありますので、松尾代表教育委員が言われた点についてはまた、どう広げていくかについて近々検討します。</p> <p>それから県の教育広報番組である「のびよ！みやぎっ子」の取材で、ジェイミー氏が来ておりました。12月7日の「のびよ！みやぎっ子」で放送がされるということですので、ご覧いただければと思います。</p> <p>それでは、「4 議事」に入ります。資料6ページをご覧ください。</p> <p>本日は、先ほど承認いただいた議案第34号含め、議案2件、報告3件となっています。</p> <p>議案第33号「令和7年度一般会計補正予算案の原案について」、報告第34号「専決処分について」、報告第35号「宮崎市立小中学校児童生徒用GIGA第1期端末の売却について」、報告第36号「令和7年度(臨時)第5回</p>

	いじめ防止対策委員会について」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。
教育委員	異議なし。
黒木教育長	それでは、これより非公開といたします。
黒木教育長	それでは、ここで非公開を解除いたします。 続いて資料14ページ「5 その他」の報告、「(1)小学校水泳授業民間プール活用モデル事業に関するアンケート結果について」、事務局から説明をお願いします。
河野企画総務課長	<p>水泳の民間プール活用モデル事業のアンケートの結果について報告します。</p> <p>この事業は、昨年度から実施しています。今年度は、民間プール活用が、倉岡小学校、池内小学校、宮崎西小学校、宮崎東小学校、そして古城小学校の5校、公営プールとして、佐土原にあります歓鯨館を広瀬西小学校に利用していただき、実施しました。</p> <p>アンケートの回答者数ですが、6校合わせて、児童が1,173人、保護者が461人、教員が62人回答しています。</p> <p>民間プールを活用した5校の児童の意見として、問1「水泳授業は楽しかったですか」の問いに対して、「とてもそう思う」、「そう思う」と肯定的な意見は92%でした。</p> <p>また、スイミングスクールの先生にも指導に関わっていただいているため、教え方は分かりやすかったかという問いに対しても、9割を超える児童が、「そう思う」と答えています。</p> <p>問5の「来年もスイミングスクールなどの屋内プールで授業を受けたいですか」については89%の子どもたちが、「とてもそう思う」、「そう思う」と回答しています。</p> <p>次に、公営プール歓鯨館利用の児童たちに尋ねた「楽しかったですか」という問いに対しては、9割を超える肯定的な回答が得られました。</p> <p>「来年も屋内プールで水泳の授業を受けたいと思いますか」という質問に対して、9割近くが肯定的な回答をしています。</p> <p>それから保護者にお尋ねした結果は、問3「今後も民間等のプールをで授業を実施してほしいですか」という問いに、こちらも9割を超える肯定的な意見をいただいています。</p> <p>それから、教員を対象とした問3「インストラクターまたは体育アシスタントと連携して指導することができましたか」という問いについては、9割ほどの教員が、「そう思う」と回答しています。小学校の体育の授業に、体育アシスタントを派遣する県の事業があります。公営プールの場合は、インストラクターが配置できませんでしたので、体育アシスタントを派遣しました。</p> <p>また問5、スイミングスクールで水泳授業を実施して良かった点について、多くの先生が、気象条件に左右されないという回答をしています。</p>

	<p>また、施設の維持管理をしなくて良いと、働き方改革につながるとの意見を回答しております。次の問6では、「今後もスイミングスクール等の屋内プールで水泳授業を実施したいと思いますか」という問いに対して、ほとんどの方が、引き続き民間のプールを活用したいといった意見でした。</p> <p>一方、課題として、授業回数の制限や移動時間が発生する点について、時間がもったいないといった意見や移動中の事故の心配をする意見、その他着衣水泳の機会がなかったといった意見もいただきました。</p> <p>今後この事業については、アンケートの結果も踏まえながら、引き続き実施していきたいと考えています。</p>
黒木教育長	<p>ただいまの説明に対し、ご質問はありませんか。</p> <p>ないようでしたら、次に(2)「宮崎市立小中学校児童生徒用GIGA第2期端末の整備について」、事務局から説明をお願いします。</p>
鍋島教育情報研修センター所長	<p>宮崎市立小中学校児童生徒用GIGA第2期端末の整備について、整備の状況を報告します。</p> <p>まず、端末Chromebookの整備状況についてです。</p> <p>令和7年6月に、令和8年度から5年間の賃貸借契約を締結しました。来月12月から、メーカーから宮崎の業者に納品が始まり、設定作業が開始される予定です。そして、来年1月から小規模校や端末の保管場所、仮置き場が確保できる学校に順次配付し、4月から利用を開始します。</p> <p>次に、通信環境の整備についてです。第2期の端末はLTE通信携帯電話の回線を利用するChromebookとなります。今年6月から8月にかけて、全小中学校に電波調査を実施し電波対策の手法を検討しました。</p> <p>その結果、屋内での対策が必要な学校が3校、屋外に基地局の設置などの対策が必要な学校が46校、対策が不要な学校が23校となり、10月から必要な整備に着手している状況です。2月には終了する見込みです。</p> <p>対策の方法ですが、屋外での対策としては、アンテナや基地局を、新設や既存の電柱、または建物に設置し、エリアをカバーします。屋内の対策としては、電波を増幅させるためのアクセスポイントや電話回線を引いてのルーターの設置によりカバーする方法となります。</p>
黒木教育長	<p>ただいまの説明に対し、ご質問等はありませんか。</p>
小林教育委員	<p>LTE通信になるということは、非常に画期的な取組だと期待しています。例えば校庭、グラウンド、体育館での全校集会や生徒集会、生徒総会といった場合も、これまで使用できなかった端末が問題なく利用可能になります。更に家庭にWi-Fi環境がない場合でも宿題などの取組が可能となり、他の自治体にとっても非常に参考事例になると考えられます。</p> <p>今回の電波対策として、屋内・屋外基地局を設置し、電波をカバーすることですが、屋外基地局が必要な学校が46校というのは意外と多いと思いました。これは、電波調査の結果、市街地であっても、校舎の立地などによって、電波が弱い箇所が確認されたためと理解してよろしいでしょうか。</p>

鍋島教育情報研修センター所長	<p>ソフトバンク社の回線を使用することになりますが、同社が実際に全校を回り、各所でLTEの通信が可能かどうかを確認しました。</p> <p>その結果、学校内に基地局を設置するケースや、学校外に新たに電柱を立てるケースがあると聞いています。</p> <p>それぞれ対策を講じて、LTEが受信できる環境を整備していただくことを条件としていますので、間違いなく端末を利用できるものと考えています。</p>
小林教育委員	<p>学習権の保障という点では、きめ細かに対応された結果だと感じています。</p> <p>今回、Chromebook導入により、議会でも質問がありました故障した場合の代替機に要する時間の問題が解決されるなども含めまして、運用面が改善されて良かったと思います。</p> <p>今後の取組として、先生方がスムーズに活用するための準備や、すでに実践されている先進的な取組が評価されているとお伺いしています。教育情報研修センターの代表が、外部で発表されたというふうにも伺っておりますので、事例をご紹介いただければと思います。</p>
鍋島教育情報研修センター所長	<p>先生向けには、今年の年明けに、教師用端末Chromebookを全員に配付し、事前に操作に慣れていただく準備を進めています。</p> <p>これまで、元々のWindows端末を継続しChromebookと併用だったのですが、今年の10月、第2学期から、Windows10のサービスが切れるというタイミングで、Windows端末が使えなくなりました。Chromebookのみを使用する環境となりますが、その中で、昨年から、平日の夕方や土曜日などに、当センターにおきまして、端末の使い方について全体に呼びかけ、研修を必要とする方が集まれるような取組を進めています。また、全ての学校を当センターの職員が巡回し、悩み事の相談などを聞き取り、その改善策をスプレッドシートに取りまとめて、全職員が閲覧できるようにするといった取組も進めています。</p> <p>実際に子どもたちが4月から利用しますので、それに向けて、今後先生方にも具体的な使い方について、必要に応じて学校を訪問しながら説明を実施していく予定です。</p> <p>また、当センターの職員が、東京で開催されたGoogle主催の発表会において、当センターによるGoogle Chromeを活用した取組状況について紹介しました。その際、他の市町村や宮崎県以外の情報も含めて、当センターで対応できること、また県内の状況も考えて、県とも連携しながら、県内の校務システムについても、前向きに取組を進められないかということで、現在検討をしているところです。</p>

小林教育委員	<p>この1年の計画的な取組は、本当に素晴らしいと感じています。</p> <p>具体的な例で言うと、先日、国富小学校に伺ったのですが、職員30数名が1つの授業を参観し、自己研鑽を行っていました。その際、皆さんChromebookを持ち寄り、共同編集で、Chromebook内のスプレッドシートに気づきを書き込み、意見交換しているという様子が、自然な流れで行われていました。</p> <p>先生方は、私が想定した以上の混乱もなく実施されており、おそらくセンターのそういった、先手を打った取組が成功している結果だと感じています。また、今後の動きにも期待していきたいと思います。</p> <p>一方で、県全体でICT活用指導力、先生たちの活用指導力が自治体によって、非常に落ち込みがあるということが、最近話題になっています。そういった観点から、教育情報研修センターで、この1年特に行われた取組は、非常に参照事例になると思います。先ほどの国富小学校の事例で言うと、研究主任が自分で解説動画を作り、それを校内であげ、校内の先生は、その解説動画を見て学ぶといったことが、当たり前のように行われているという状況です。そのような事例などを積極的に発信していただくことが、県全体の底上げにつながると思いながら見ておりました。</p>
黒木教育長	<p>他に質問がないようでしたら、会次第「6 次回教育委員会」についてと「7 行事予定」について、一括して事務局から説明をお願いします。</p>
河野企画総務課長	<p>まず、11月13日から次の14日にかけて、教育長は、東京都の全国都市教育長協議会第4回理事会、そして翌日、全日本教育工学研究協議会全国大会のため、つくば市へ出張です。</p> <p>それから11月21日ですが、教育懇話会がホテルメリーージュにて開催されます。教育委員の皆様方の出席をよろしくお願いいたします。</p> <p>次に、12月1日から12月17日までが、12月の宮崎市議会定例会の予定です。</p> <p>それから、12月23日が次回の定例教育委員会の予定です。</p> <p>1月16日は、中核市教育長会のため、教育長は東京へ出張です。</p> <p>最後に1月20日が、1月の定例教育委員会の予定です。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
黒木教育長	<p>ただいまの説明に対し、ご質問はありませんか。</p>
教育委員	<p>なし。</p>
黒木教育長	<p>質問がないようでしたら、以上をもちまして、令和7年第11回教育委員会定例会を終了します。</p>